

(孫)

多く見かける。

時頃一糸庵に着き、一同庵を見ながら昼食を取る。庵は附近の溪流と天に雄大な眺めである。紅葉の頃はさぞ美麗だろうと語り合つた。

谷の向う岸には、リヨウメンシタ、イノテ、ウワバミソウ、等が一面に茂っている。北岸にはイタビカズラ、マルバマンネンクサ等を見る。昼食後越山に向つて出発したが途中は、オトコヘシ、キツリフネソウ、ツリフネソウ等の花が咲き乱れでいるが特に夜したもののは採集せず、時間の都合で途中で引かえして、乗教寺まで歩き、帰路につく。

(荒川九矢衛記)

南條郡芋平方面植物採集記

昭和31年10月10日南條郡芋平方面に於て植物採集会を開催した。参加者は順化小学校の児童2名の外に河原、三田、八田、三村、坂本、堀の諸氏。

秋晴れのよい天気で秋の植物の観察に美しい一日でした。以下簡単に観察した植物を報告します。

北陸線湯尾駅に下車、駅附近で採集し、湯尾から自動車で小倉谷に行き、小倉から芋平まで採集、芋平分教場で昼食をとり、蓮如上人遺跡の地に参り又時頃帰途についた。

湯尾駅附近の水田路傍には、トウコギ、ヒメクク、ホシクサ、イスノヒケ、サクラタデ、ヤナギタデ、ホントクタデ、イヌタデ、カマツリクサ、コゴメガヤツリ、スメリクサ、サヤヌカクサ、スカキビ、コブナクサ、アシボシ、ハイヌメリ、トタシバ、カゼクサ、チカラシバ、エノコロクサ、キンエノコロ、イスビエ、ハナイバナ、クワクサ、ノコンギク、ヨメナ等の草木を見る。

小倉谷から谷川にそって行く、イヌタデ、ハナタデ、ナギナタコウジュ、イヌコウジュ、ヒメジソ、ツリフネサウ等よく開花して実に美しい。タンドボロギク、アメリカセンダンクサ等の帰化植物がよく茂っている。

瀬戸部落のお宮にケヤキの大木がある。谷川の両岸にウラジロカシ、シラカシ、クマシテ、ハイイヌカズレ、チャボガヤ、ニガキ等の木本が残っている。道路附近の山地には、ヤクシソウ、シラヤマギク、シロヨメナ、アキノキリンソウ、ヤマニカナ、ユウカギク、タンドボロギク、ヒメムカシヨモギ、ヒヨドリバナ、サンシチソウ、シラヤマギク等の菊科植物が開花し、ナギナタコウジュ、カワミドリ、カラスノゴマ等の混生しているのを見る。木本には、ケンホナシ、コマユミ、ハクウンホク、イヌシテ、キブシ、アカシテ等がある。

芦平附近には、オオアキギリ、キツリフネ、テンニンソウ、サンインヒキオコシ、クロバナヒキオコシ、イワタバコ等が多く、ケヤキの樹皮にオシマクジテンダガ多く着生している。

重知上人の遺蹟は有孔虫石灰岩の小さい洞窟でこの石灰岩上にはビロウドシタ、クマラビ、イヌフラビの様な羊齒類やコマユミ、ハイイスカヤ、チャボカヤ、カマツカ、マユミ、ママホロシ、アズキナシ、ケヤキ等の植物が繁茂している。ビロウドシタは嶺北では最初の採集で同植物の北限ではないかと思う。

(滝 芳 奉 記)

敦賀市西方嶽 サザエ岳の植 物調査報告

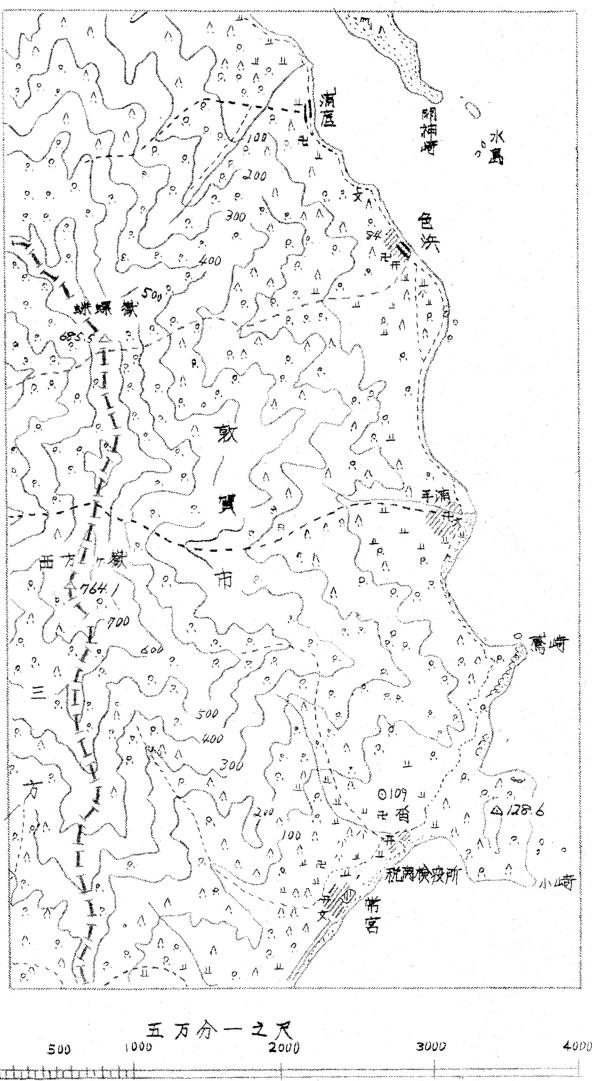
昭和三十年十一月三日、敦賀市の本比氏外10名の方々と共に敦賀市サザエ岳、西方岳の植物を調査する機会に恵まれましたので以下簡単に報告します。

敦賀駅から自動車で常宮に行き常宮から舟で渕底に行く。渕底からすサザエ岳に登り西方岳を経て常宮に下山。自動車で敦賀駅に帰り散会した。

敦賀から常宮までの海岸には、ハゼ、ニガキ、オムノキ、シヤシマンボ等を見る。

常宮神社の社叢はシイ、タブノキ、等の常緑闊葉樹を中心としたもので主な植物は、

シイ、タブノキ、ヤブニクケイ、モチノキ、ヤブツバキ、シロタモ、木アカマツ、クロマツ、ハゼ、ケヤキ、エノキ、等の喬木、ティカカズラ、



今庄図幅